

三菱ケミカル株式会社

横浜臨海部の主な事業所

- ◆ 鶴見工場（大黒町地区）
- ◆ 鶴見研究所（大黒町地区）

脱炭素分野の取組

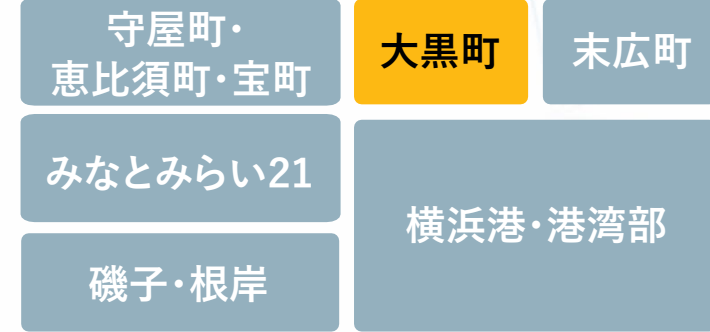
主に対象とする脱炭素分野（グリーン成長戦略の重点 14 分野との対応）

⑬ 資源循環関連

取組概要

三菱ケミカルグループは、ポリエステルフィルムなどを製造・販売する「機能商品分野」、産業ガスなどを製造・販売する「素材分野」、医療用医薬品などを製造・販売する「ヘルスケア分野」で事業を展開しており、2030年度までに温室効果ガス（GHG）排出量を、グローバルで29%削減（2019年度比）、2050年までにカーボンニュートラル達成に向けては、燃料転換・プロセス合理化・バイオマス原料の活用・CO₂の原料化等のイノベーションの実装、さらには植林等によるカーボンオフセットなどを進める方針です。

鶴見工場では、水処理凝集剤・紙力増強剤などの原料に使用されるアクリルアミドなどの製造を行っているほか、隣接する鶴見研究所では、①バイオ法アクリルアミド製造、②透明樹脂・光学材料、③表面機能化技術、④生物応用技術（水・食に関するソリューション）などの分野における研究開発を実施しており、グローバルな研究開発ハブとして機能するScience & Innovation Center（横浜市青葉区）とも連携し、研究開発を行っています。



鶴見事業所の外観